

学年	高校1年	教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2
教科書名	歴史総合（山川出版社）			副教材名	歴史総合資料集（山川出版社）		
コース・クラス	中高一貫、選抜・N進、 スポーツ・芸能						

I. 目標

1. 列島内の人々の歩みを学ぶだけでなく、我が国と諸外国や諸地域との関係を基本的な枠組みの中で理解する。数多くの事象を題材に用いて歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 「現代的な諸課題の形成に関わる歴史の大きな変化」の理解を教科目標とする。現在の諸問題はなぜ生まれてきたのか。その道筋の時間的・空間的（地理的）な要素を意識し、様々な歴史上のできごとを多面的に関連づけて理解することで、現代に生きる私たちの社会の在り方や直面する課題について思考する力を養う。

II. 授業のねらい

1. 18世紀以降の日本の歴史を、世界の動きと密接に結び付けながら、学び、考えることを実践する。
2. 講義型の授業に加え、アクティブラーニング型授業も適宜取り入れることで多面的・多角的な理解を図る。
3. 自ら問いを立てることを通して、積極的に自ら情報収集をする姿勢や、他教科・科目で習得した知識や技能を相補的に用いて、歴史的な事象相互の関係性を見極める総合的な考察力・思考力を高める。

III. 授業の進め方

1. 歴史総合の目標にある「世界との中の日本を広く相互的な視野から捉える」ことを意識し、「現代的な諸課題とのつながり」という視点で講義を行う。
2. 単元ごとに、「推移・展開への問い（主題）」として歴史的な事象の基礎知識を講義する。
3. 授業内で提示する様々な資料（史料）を基に、「比較・関連づけの問い」を生徒自身が立て、複数の歴史的な事象の関連性やその影響などを多面的・多角的に考え、自分自身の考えを表現する活動を重視する。

IV. 学習上の留意点

1. 歴史的な事象において、時間軸を使う「歴史的な見方・考え方」と、空間軸を使う「地理的な見方・考え方」を相互補完的に応用することで、様々な視点で歴史的な事象を考えてみることに。
2. 用語の暗記に偏ることなく、「なぜそうなったのだろうか？」という問題意識を持ちながら、様々なできごとの因果関係を比較・整理し、各種資料・史料を読み取る練習をすること。
3. 授業内の解説や他者の発表などでは、要点を聞き分けてメモを取り自身の理解を深める努力をすること。

V. 定期試験

- 1学期 期末試験 : アジア諸地域の繁栄と日本 ～ 自由民権運動と立憲体制
- 2学期 中間試験 : 条約改正と日清戦争 ～ 日露戦争とその影響
- 2学期 期末試験 : 第一次世界大戦とロシア革命 ～ ファシズムの台頭
- 3学期 学年末試験 : 日本の恐慌と満州事変 ～ 第二次世界大戦と太平洋戦争

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、課題、レポート、発表、小テストなどの総合評価。

VII. 授業計画

学期	月	単元	試験等	学習目標
一学期	4	第1章 結びつく世界 1 アジア諸地域の繁栄と日本 2 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出		16世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と、ヨーロッパで成立した主権国家体制とその特徴について理解する。また、ヨーロッパ諸国のアジア交易への進出を理解する。
	5	第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1 ヨーロッパ経済の動向と産業革命 2 アメリカ独立革命とフランス革命 3 19世紀前半のヨーロッパ 4 19世紀後半のヨーロッパ	小テスト	大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解する。また、産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が拡大したことを考察し理解する。／資本主義に対抗する理論として社会主義が生まれ出された背景と、その特徴について考察し理解する。／東南アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について追及する。／開国を転換点として、江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解する。
	6	5 19世紀のアメリカ大陸 6 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 7 中国の開港と日本の開国	小テスト	
	7	第3章 明治維新と日本の立憲体制 1 明治維新と諸改革 2 明治初期の対外関係 3 自由民権運動と立憲体制	期末試験	新政府の方針をとらえるとともに、新政府側・諸藩側の立場での対応を考察し理解する。／明治新政府が清・朝鮮・欧米諸国とどのような関係を築こうとしたのかを考察し理解する。／大日本帝国憲法の成立過程を理解し、諸制度や諸法典の内容を理解する。
二学期	9	第4章 帝国主義の展開とアジア 1 条約改正と日清戦争 2 日本の産業革命と教育の普及 3 帝国主義と列強の展開 4 世界分割と列強の対立 5 日露戦争とその影響	小テスト	条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか、多角的に考察し理解する。／日本の産業革命の発展について、産業別に比較し具体的に考察し理解する。／帝国主義について、欧米諸国の経済・政治的な動向を考察し理解する。／日露戦争の結果が、日本国内や周辺地域に及ぼした影響を多面的に考察し理解する。
	10	第5章 第一次世界大戦と大衆社会 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 国際平和と安全保障 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 大衆消費社会と市民生活の変容	中間試験	第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を考察し理解する。ソ連成立の歴史的意義を考察する。／各国が国際協調路線を採用した背景を考察し理解する。また、大戦後に植民地で民族運動が活発化した影響を考察し理解する。／アメリカ社会の大衆化と大量消費社会の成立が、日本の大衆化・消費文化につながることを考察し理解する。／労働運動や社会運動が活発化した背景と展開を考察し理解する。
	11	5 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	小テスト	
	12	第6章 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌の発生と各国の対応 2 ファシズムの台頭	小テスト	世界恐慌が国際秩序にどのような変化をもたらしたか、資本主義国・社会主義国の視点から多角的に考察し理解する。／ドイツを中心としたファシズムはどのようにして台頭してきたか、また、ソ連の体制とファシズム体制を比較し、類似点・相違点を考察し理解する。
三学期	1	3 日本の恐慌と満州事変 4 日中戦争と国内外の動き 5 第二次世界大戦と太平洋戦争	小テスト	満州事変の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の満州での政策と、日本の国際社会での立場を考察し理解する。／日中戦争の長期化が、日中両国の人々や国際社会にどのような影響をもたらしたのかを考察し理解する。／第二次世界大戦が起きた背景を考察し、欧米諸国がどのような影響を受けたのかを理解する。また、日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を軸にして多角的に考察し理解する。
	2			
	3		期末試験	

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更することがある。